

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市西ノ京老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

・介護保険法に基づく通所介護事業および京都市介護予防・日常生活支援総合事業に基づく介護予防型デイサービス事業

2 事業実施内容

(1) 指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
・指定通所介護および介護予防型デイサービス事業所として、日常生活上の援助（食事・入浴・排泄・送迎等）、機能訓練、レクリエーション等の介護サービスを提供。また、利用に関する調整、通所介護計画書の作成、および利用者や家族への相談援助を実施。
・聴覚障害のある高齢者の方については、可能な範囲で通常のサービス提供地域以外からの受け入れや、聴覚言語障害センター（情報提供施設・生活介護事業所）との連携による支援を実施。
・支援の質の向上のため、事業所会議（毎月）、法人内の介護事業所と合同の職員研修（年6回）の開催。

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）
・介護保険法に基づく訪問介護および京都市介護予防・日常生活支援総合事業に基づく介護型ヘルプサービス
・生活支援型ヘルプサービス事業、障害者総合福祉法に基づく居宅介護および移動支援事業

自主事業の実施状況は、以下の通り。

・特になし

3 サービス提供状況

・管理者 1名（生活相談員・介護職員と兼務） ・生活相談員4名（介護職員と兼務） ・看護職員3名（常勤1名非常勤2名 機能訓練指導員と兼務） ・専従介護職員6名（常勤1名非常勤5名） ・運転職員7名（非常勤）

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

・特になし

4 市内中小企業への発注に対する考え方

特殊設備や保守管理以外は市内の中小企業を活用するよう努めている。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)延べ利用者数

①令和6年度実績値 人

②令和7年度目標値 人

(2)実利用者数

①令和6年度実績値 件

②令和7年度目標値 件

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

令和6年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

介護保険収入	64,401,173
利用料収入	5,879,863
委託料収入	0
補助金収入	416,992
寄付金収入	36,286
雑収入	0
その他	396,461
収入計	71,130,775

人件費	63,493,003
事業費	10,972,472
委託費	663,347
小額修繕費	616,324
その他	10,549,872
支出計	86,295,018

イ 企画提案業務1（ホームヘルプステーション）令和6年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

介護保険収入	8,683,997
利用料収入(介護)	959,871
障害福祉サービス収入	2,578,410
利用料収入(障害)	20,838
委託料収入	0
補助金収入	45,087
雑収入	0
その他	222,790
収入計	12,510,993

人件費	13,099,114
事業費	31,410
委託費	51,429
その他	1,481,698
支出計	14,663,651

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

- ・2024年10月に利用者全員にアンケート調査を実施した
- ・事業所内に意見箱を設置し、利用者の意見を随時把握するよう努めている

(2) 利用者満足度把握の結果

- ・レクリエーションの内容（外出の取り組み）に関する要望や、リハビリ機器の設置（継続）や利用者同士の交流についてのご意見などが出されていた。

(3) 意見等への主な対応状況

- ・2024年度より外出レクリエーションとして、花見外出（近距離）、喫茶外出を計画した。
- ・足こぎ式のリハビリマシンを設置、利用を促した。
- ・利用者同士の交流として、手話交流会、難聴者交流会を企画実施した。

7 その他特記事項

(1)

障害のある人の社会参加を目的に、聴覚障害者・難聴者・盲ろう者は通常のサービス提供実施地域を超えて受け入れを行っている。手話や要約筆記・筆談を用いて聴覚障害者が安心して利用できるようコミュニケーションを保証し、また手話学習会や共に楽しめるレクリエーションなどを通して、健聴者の利用者との交流の機会を提供している。

(2)

令和5年度に引き続き、ご利用者参加型のイベントとして「きこえの森祭り」を開催した。ご利用者の意欲向上と社会参加を目的に、準備や当日の出し物などに主体的に参加していただけるよう進め、参加いただいた。

8 評価（指定管理者自己評価）

- 1) 利用者の重度化に伴う施設入所や高齢他界等による利用廃止が相次いだことが影響し、利用登録者数が伸び悩み、延べ利用件数が前年度より700件余り減少した。結果、介護保険事業収入・利用料収入が前年度より大きく減少している。加えて人件費（定期昇給含む）の上昇等による支出増大に伴い、赤字が拡大している。新規利用者の確保に努めているが現状では追いついていない。引き続き体験利用の積極的な受け入れによる新規利用者の確保と、魅力のある取り組み内容の充実によって、利用拡大による収入増を図るとともに、支出の見直しを行い、経営状態の健全化に努める。
- 2) ろうあ者や盲ろう者を対象とした通常のサービス提供エリア外からの受け入れを推進し、約13名のろうあ者（登録者の約14%）が利用している。また、聴覚障害者のある職員が介助員、運転手として勤務している。
- 3) 上記の取り組みや聴覚障害者利用者の受け入れ、聴覚障害者の就労、差別解消に向けた研修の実施により、法人理念である「完全参加と平等」の具体化を図っている。

令和6年度指定管理業務に関する事業報告書
(施設内に地域包括支援センター又は老人介護支援センターがある居宅介護支援事業所)

施設名 介護支援センターきこえの森

1 施設の管理運営

居宅介護支援
【開所日及び開所時間等】
月～金曜日 午前9時から午後5時30分まで。
閉所日・時間外は同建物内の他事業所の日直者・夜勤者が対応。緊急時には担当者に連絡できる体制をとっています。※緊急対応については24時間連絡を受け付ける体制をとっています。
【事業実施地域】
通常地域は、中京区 朱雀第四、朱雀第五、朱雀第八の3学区
ただし、聴覚言語の身体障害者手帳所持者又は平成23年4月1日以前の継続利用者は、上記1の地域を越えて事業を提供する事ができます。

2 事業実施内容

指定管理業務（本来業務：居宅介護支援）
・年間給付管理数 1,772 件
職員数 6名（主任介護支援専門員2名、介護支援専門員2名、非常勤介護支援専門員1.2名（常勤換算））
要介護状態にある利用者及びその家族等に対し、在宅介護に関する総合的な相談に応じ、ニーズや心身の状況、置かれている環境等に応じた各種の医療・保険・介護サービスが総合的に受けられるよう、関係行政機関・地域包括支援センター・居宅サービス事業者・介護保険施設等との連絡調整等の便宜を供与し、利用者及びその家族の生活の質の再構築、向上を図ります。

3 施設の利用状況(本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1) 収支実績

居宅介護支援		令和6年度収入状況及び支出の状況		(単位：円)	
介護保険収入	31,569,544	人件費	30,267,638		
利用料収入	0	事業費	0		
委託料収入	324,856	委託費	89,005		
補助金収入	101,372	小額修繕費	0		
寄付金収入	1	その他	3,173,477		
雑収入	0	支出計	33,530,120		
その他	6,000				
収入計	32,001,773				